

科目名称：	基礎演習	
担当者名：	新井 浩、大谷 友理、大場 新之助、権田 宜子、東田 修一、堀 一浩、本山 二郎、和田 紘樹	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	実技	8
授業の目的・テーマ		
<p>油画・日本画コース、マンガ・キャラクターコース、デザイン・ビジネスコース、ゲーム・映像コース、ファッション・スタイリストコース、染色・陶芸コース、インテリア・コーディネートコースの7コースの基礎を学ぶ。一般の高校からの入学生はこの期間で美術の基礎を体験する。美術系高校からの入学生は再度、基礎を体験することにより表現の幅を広げ、新しい可能性を探る。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>それぞれのコースの特徴や内容を把握する。美術の基礎を体験し、自分の適性を確認し納得のいくコースを決定する。さらに、決定したコースの基礎を学び後期につなげていく。</p>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)			100		100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
理解	様々な美術分野について理解し、説明できる。	様々な美術分野について理解したが、うまく説明するまでには至っていない。	様々な美術分野について、少し理解できた。	様々な美術分野について、まだあまり理解できていない。
知識・技能	様々な美術分野を理解できるようになり、技術を使って作品に表現できる。	様々な美術分野について理解できるようになり、技術も使えるようになった。	様々な美術分野について少し理解でき、技術を使えるには至っていない。	様々な美術分野について、理解するまでには至っていない。
適性	自分の適性を見つけることができ、さらに専門分野を学んでいきたい。	自分の適性を見つけることができた。	自分の適性が少しわかりかけている。	自分の適性について、何なのかわからず戸惑っている。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 少人数のグループに分かれ、油画・日本画コースの基礎を学ぶ。	それぞれのコースの課題演習準備と制作	40分
第2週 少人数のグループに分かれ、油画・日本画コースの基礎を学ぶ。(グループワーク)	それぞれのコースの課題演習準備と制作	40分
第3週 少人数のグループに分かれ、マンガ・キャラクターコースの基礎を学ぶ。	マンガ・キャラクターコースの課題演習準備と制作	40分
第4週 少人数のグループに分かれ、マンガ・キャラクターコースの基礎を学ぶ。(グループワーク)	マンガ・キャラクターコースの課題演習準備と制作	40分
第5週 少人数のグループに分かれ、デザイン・ビジネスコースの基礎を学ぶ。	デザイン・ビジネスコースの課題演習準備と制作	40分
第6週 少人数のグループに分かれ、デザイン・ビジネスコースの基礎を学ぶ。(グループワーク)	デザイン・ビジネスコースの課題演習準備と制作	40分
第7週 少人数のグループに分かれ、ゲーム・映像コースの基礎を学ぶ	ゲーム・映像コースの課題演習準備と制作	40分
第8週 少人数のグループに分かれ、ゲーム・映像コースの基礎を学ぶ(グループワーク)	ゲーム・映像コースの課題演習準備と制作	40分
第9週 少人数のグループに分かれ、ファッション・スタイリストコースの基礎を学ぶ。	ファッション・スタイリストコースの課題演習準備と制作	40分
第10週 少人数のグループに分かれ、ファッション・スタイリストコースの基礎を学ぶ。	ファッション・スタイリストコースの課題演習準備と制作	40分
第11週 少人数のグループに分かれ、染色・陶芸コースの基礎を学ぶ。	染色・陶芸コースの課題演習準備と制作	40分
第12週 少人数のグループに分かれ、染色・陶芸コースの基礎を学ぶ。(グループワーク)	染色・陶芸コースの課題演習準備と制作	40分
第13週 少人数のグループに分かれ、インテリア・コーディネートコースの基礎を学ぶ。	インテリア・コーディネートコースの課題演習準備と制作	40分
第14週 少人数のグループに分かれ、インテリア・コーディネートコースの基礎を学ぶ。(グループワーク)	インテリア・コーディネートコースの課題演習準備と制作	40分
第15週 コースを最終決定し、それぞれのコースに別れて基礎を学ぶ。	決定したコースの課題演習準備と制作	40分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
提出課題を100%で評価する。

課題に対するフィードバック

基礎演習の課題を各教員が評価し、フィードバックする。

教科書・参考書

資料を配付する。